

認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者へのアンケートのまとめ

和歌山認定看護管理者会

はじめに

和歌山県看護協会では認定看護管理者教育課程セカンドレベルを平成 21 年度より開講し、平成 29 年度までに 185 名が修了した。この修了者が各施設での看護管理者として業務実態や課題を明確にすることは、今後の看護管理者教育や和歌山認定看護管理者会（以下、「本会」）としての支援方策構築につながる。

本会では、平成 27 年度から看護の質向上を目的として看護管理者対象の「出前講義」を行うことで看護管理者の支援に取り組んできた。そこで、前述のセカンドレベル修了者の看護管理実践課題の取り組みの現状や看護管理上の課題に関する調査をおこなうことで今後の支援のあり方の検討資料とした。

I. 目的

認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者(以下、「セカンド修了者」)が看護管理上の問題、課題をどのように捉えているかを調査する。

II. 方法

- 1) 対象者：セカンド修了者 185 名中県内施設で勤務継続中の 170 名
- 2) 調査期間：平成 30 年 7 月 1 日～7 月 12 日
- 3) 方法：郵送によるアンケート調査（自記式記述様式）

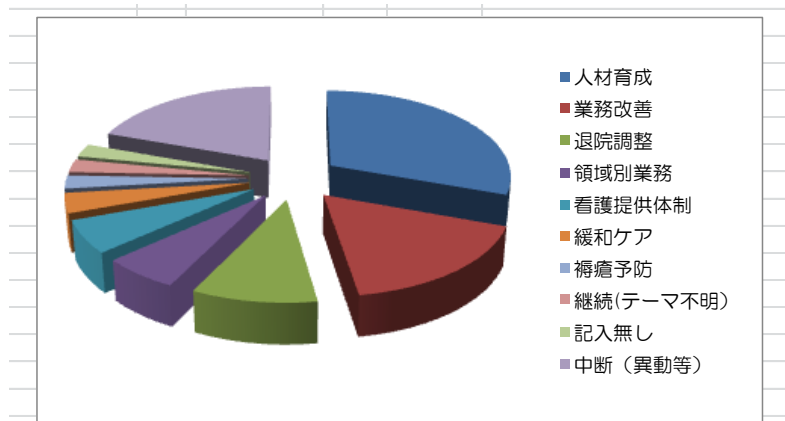
（質問項目）

- 1) 基本属性（受講年度、受講時の年齢・職位・性別、現在の職位）
- 2) 看護管理実践課題の取り組みと成果
- 3) 現在の看護管理上の課題
- 4) セカンドレベル修了者への支援に関すること

III. 結果

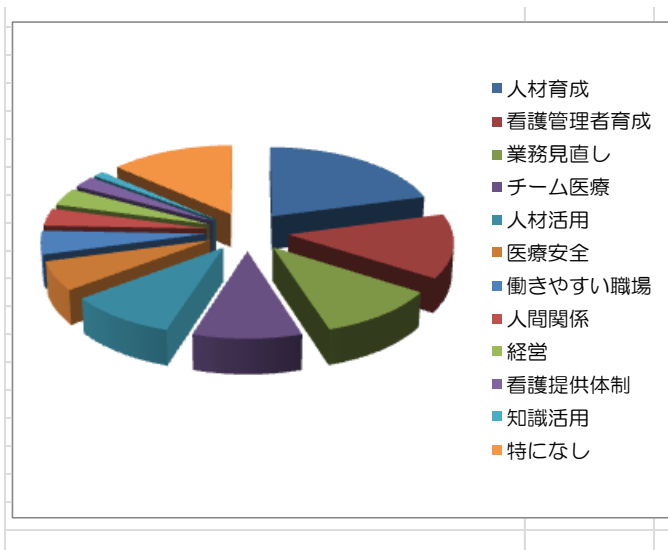
1. 回収数 82 名、回収率 48.23%
2. アンケート結果
 - 1) 看護管理実践課題の取り組みと成果

人材育成	25
業務改善	14
退院調整	8
領域別業務	5
看護提供体制	5
緩和ケア	3
褥瘡予防	2
継続（テーマ不明）	2
記入無し	2
中断（移動等）	16
合計	82



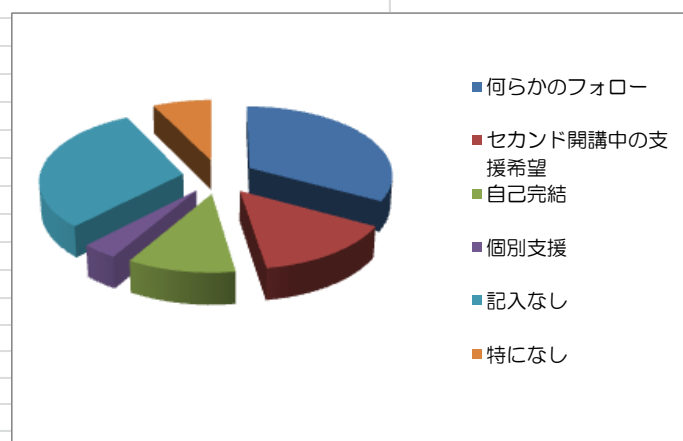
2) 現在の看護管理上の課題

人材育成	17
看護管理者育成	11
業務見直し	9
チーム医療	8
人材活用	8
医療安全	5
働きやすい職場	4
人間関係	3
経営	3
看護提供体制	2
知識活用	1
特になし	11
合計	82



3) セカンドレベル修了者への支援に関すること

何らかのフォロー	27
セカンド開講中の支援希望	12
自己完結	9
個別支援	3
記入なし	25
特になし	6
合計	4



IV. 結果から考える看護管理者への支援

1. 看護管理上の課題

13.4% (11名) が「看護管理者の育成」と述べていることから、本会が行う「出前講義」は有用であると考えられる。今後さらに小規模施設において実施できるように広報していく。出前講義は、あくまでも看護管理者対象であることとし、たとえ受講者が1人でも「看護管理者の管理実践力向上支援」につなげることを心がけ、出前講義の継続とさらなる活性化をはかる。

2. セカンドレベル修了者への支援

「なんらかのフォローを希望する」人は 32.9%(27名)おり、その内容は研修会や意見交換会などの開催を希望している。反面、「特になし」や無記入のものが 37.8%(31名)、10.9%(9名)が「自己啓発できている」という結果から半数近くは、協会からのフォローを求めていると考え、現状のままで、出前講義の活用やファーストレベル・セカンドレベルの聴講の機会を設けるなどして自己啓発を薦める。

また、「セカンド開講中の支援希望」の内容は 14.6%(12名)であったが、記述内容としてはセカンド受講中の支援者に対する希望や開催時期の希望、実践計画書実践の実現機会の確保などであり、認定看護管理者教育運営委員会とこの結果を共有し検討していく。